

設立趣意書

科学技術の進歩は、私達の生活に多くの生活上の便益や経済的な豊かさをもたらしてきました。とくに、現在多くの分野で進められている先端技術の開発は、更に、この傾向を加速度的に強めていくものと思われます。同時に、このことは、私達の生活構造や生活様式を始め、地域を含む生活環境に大きな変貌をもたらすものと予想されます。

このような生活や地域の環境変化が進む中で、私達は、既に一方では、食を中心とする生活基盤を劣化させていく諸条件の増大を懸念し、他方では、誰もが希求するところの、より人間的な生活の潤いと真の豊かさを喪失するのではないかとの危惧の念をもち始めています。

このような時代・社会の流れをみると、今日ほど変化の時代にふさわしい人間らしい生活を可能とする「生活の知恵」が求められている時代はないといえましょう。私達は、自らの生活環境をもう一度見つめ直し、その中から心身共に健全で豊かな人間的、文化的な生活を可能とする条件とは何かを探求して行くことが必要であると考えます。

このような認識のもとに、私達は、あらためて生活文化にかかわる問題を学問的に体系づける必要を感じ、とりわけ、人間生活の基盤としての食を中心とする生活科学に関する研究並びに豊かな人間性をはぐくむことを可能とする生活文化に関する学際的な研究を奨励、援助することにより、国民の生活文化の向上に寄与することを目的として、ここに、従来、研究財団として運営してきた財団法人醸造科学研究所を発展的に解消し、その財産を継承することにより、「財団法人アサヒ生活文化研究振興財団」を設立いたしました。